Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書関係

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の明細の内訳

現金及び預金	18,961,337千円
うち定期預金	7,800,000千円
（差引）資金期末残高	11,161,337千円

２．重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	
工具器具備品	799,332千円
現物寄附による資産の取得	885,202千円

Ⅴ．国立大学法人等の業務運営に関する国民の負担に帰せられるコストの注記関係

１　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用	114,368,694千円	
⑵　（控除）　自己収入等	△ 70,129,742千円	
業務費用合計		44,238,951千円
２　資本剰余金を減額したコスト等		3,859,585千円
３　機会費用		
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	19,200千円	
政府出資の機会費用	2,346,182千円	
無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	―千円	2,365,383千円
４　（控除）　国庫納付額		―千円
５　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト		50,463,920千円

注１）国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコストの注記における機会費用の計上方法

⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

決算日における10年もの国債（新発債）の利回り1.485％で計算しております。

Ⅵ．減損会計関係

１．減損を認識した固定資産

用途	外国人研究者等宿泊施設３号棟	留学生宿舎（伏見住宅）	職員宿舎（花園町住宅）
種類	建物	建物	土地・構築物
場所	北海道札幌市北区	北海道札幌市中央区	北海道函館市花園町
帳簿価額	32,180千円	97,070千円	75,757千円
減損の認識に至った経緯	使用方法の著しい変化	使用しないという決定	使用しないという決定
減損額のうち損益計算書に計上した金額	22,143千円	97,070千円	―
減損額のうち損益計算書に計上していない金額	10,036千円	―	31,517千円
回収可能サービス価額	使用価値相当額	使用価値相当額	正味売却価額
使用価値相当額を採用した理由	注１―⑴	注１―⑴	―
算定方法の概要	注２―⑴	注２―⑴	注２―⑵

用途	大滝セミナーハウス
種類	土地・建物・構築物
場所	北海道伊達市大滝区優徳町
帳簿価額	33,678千円
減損の認識に至った経緯	市場価格の下落
減損額のうち損益計算書に計上した金額	263千円
減損額のうち損益計算書に計上していない金額	772千円
回収可能サービス価額	正味売却価額
使用価値相当額を採用した理由	―
算定方法の概要	注２―⑵

※帳簿価額は減損の認識を行った時点の金額

注１）使用価値相当額を採用した理由

⑴　売却を想定していないため

注２）回収可能サービス価額の算定方法の概要

⑴　合理的な算出が困難であるため備忘価額とした

⑵　売却を想定しているため、不動産鑑定士の意見価格を参考とした

２．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

用途	文学部斜里研究室	電話加入権（使用回線）
種類	土地・建物・構築物	電話加入権
場所	北海道斜里郡斜里町	北海道札幌市北区
帳簿価額	8,300千円	2,743千円